

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地歴・公民科	世界史B	全日制普通科 1学年	4
教科書 副教材等	[主たる教材] 山川出版社 『詳説 世界史 改訂版』 [副教材] 第一学習社 『グローバルワイド 最新世界史図表 初訂版』 浜島書店 『要点整理 ゼミナール 世界史』		

1 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

四年制大学等へ進学を希望する生徒も多く、その大多数がセンター試験を受験することから、

- ① 大まかな歴史の流れをつかめるように留意し、歴史的考察力を身につけさせる。
- ② 基本的な内容の指導に力を入れ、詳細な知識の羅列をできるだけ避ける。
- ③ 自学自習を促し、自主的かつ主体的に学習する態度を養う。

3 学習計画（1単位時間：55分）

4	世界史の学習について 諸地域世界の形成 序章 先史の世界 第1章 オリエン と地中海世界	1. 古代オリエン 2. ギリシア世界 3. ローマ世界	○世界史を学ぶ意義や授業の進め方や考査等について理解する。	1	小テスト 授業の取組
			○人類の進化の過程を知り、自然環境に適応しながら文明を築いたことを理解する。 ○西アジアと地中海一帯の地理的特性を知り、いちはやく成立したオリエン文明では大河の治水・灌漑に基づく神権政治が行われたことを理解する ○ヨーロッパの古代文明が発達する上で、地中海の役割について気づき、まとまった文化圏であることを理解する。 ○古代民主政の特色を現代民主政治と対比してとらえ、その限界を明らかにする。 ○元首政と専制君主政を対比し、性格を理解する。	1 3 3 3	
5	定期テスト			1	定期テスト 授業ノート提出
6	第2章 アジア・アメリカの古代文明	1. インドの古典文明 2. 東南アジアの諸文明 3. 中国の古典文明	○インダス文明・アーリア人の侵入以後の文化・社会・国家の発展をみながら南アジア世界の形成過程を理解する。 ○東南アジアの諸文明についての特徴を理解する ○黄河文明の発生から殷・周の時代までは、中国文化の基礎となることを学び、統一国家誕生への変化を理解する。 ○秦・漢の統一国家では、中央集権政策の特徴を理解する。	2	小テスト 授業の取組 レポート
			○遊牧民とオアシス民の生活を知り、世界史に果たした役割を理解する。 ○北方民族の特色と活動について歴史的意義を理解する。 ○隋・唐帝国の政治の仕組み、特に律令制の整備など、行政組織が充実してきたことを理解する。そして、他国への影響についても理解を深める。	1 3 1 1	
7	定期テスト	4. 南北アメリカ文明		1	定期テスト 授業ノート提出
8	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	1. 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2. 北方民族の活動と中国の分裂 3. 東アジア文化圏の形成	○遊牧民とオアシス民の生活を知り、世界史に果たした役割を理解する。 ○北方民族の特色と活動について歴史的意義を理解する。 ○隋・唐帝国の政治の仕組み、特に律令制の整備など、行政組織が充実してきたことを理解する。そして、他国への影響についても理解を深める。	2	小テスト 授業の取組 レポート
				2 2	

12	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成長	1. 産業革命 2. アメリカ独立革命 3. フランス革命とナポレオン	○産業革命の背景、技術革新、交通革命の仕組みを理解し、なぜイギリスがその舞台となり繁栄したか考察する。 ○アメリカ革命、フランス革命でどのように市民社会が誕生したか理解する。	3 3 5	小テスト 授業の取組 レポート
1	第11章 欧米における近代国民国家の発展	1. ウィーン体制の成立 2. ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3. 南北アメリカの発展 4. 19世紀欧米の文化	○ウィーン体制の下、各地でどのような自由主義・ナショナリズム運動が起こったのか理解する ○合衆国の領土的拡大や民主主義の発展とその一方で問題となった先住民や、黒人に対する差別や抑圧について把握する。	2 2 2 1	小テスト 授業の取組 レポート
1	第12章 アジア諸地域の動揺	1. オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2. 南アジア・東アジアの植民地化 3. 東アジアの激動	○オスマン帝国のバルカン支配の影響を押さえ、今日の民族問題を考察する。 ○オスマン帝国支配の柔軟性を考察する。 ○ヨーロッパ列強のアジア侵略の背景や過程をおさえ、その結果、アジア諸国がどのように変化したか理解する。	2 1 2	小テスト 授業の取組 レポート
1	第13章 帝国主義とアジアの民族運動	1. 帝国主義と列強の展開 2. 世界分割と列強対立 3. アジア諸国の改革と民族運動	○先進資本主義国の経済発展の相違を理解し、対外膨張政策である帝国主義との関連を考察する。 ○帝国主義における列強の世界政策の様相を把握させ、アジアの民族運動について理解する。	2 3 2	小テスト 授業の取組 レポート
2	第14章 二つの世界大戦	1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動 4. 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5. 第二次世界大戦	○第一次大戦の直接の契機と戦渦の世界への拡大を、国際関係をふまえて理解する。 ○第一次大戦を女性・労働者・植民地の観点から把握する。 ○社会主義国家の成立過程を理解する。 ○ヴェルサイユ体制の成果と矛盾について具体的に理解し、とくにソ連とドイツの犠牲の上に立脚していたことを把握する。 ○中国国民党と中国共産党の性格や方針の相違を理解し、その後の日中戦争に至るまでの流れを把握する ○世界恐慌の原因とその世界への波及の原因について理解し、それと関連して、全体主義の性格、成立の背景、政策などについて理解する。 ○英仏の宥和政策と独ソ関係を中心に、国際関係の変化について考察する。 ○太平洋戦争の原因と意義について理解する。	3 2 2 2 2	小テスト 授業の取組 レポート
2	第15章 冷戦と第三世界の独立 定期テスト	1. 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2. 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3. 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4. 石油危機と世界経済の再編	○米ソ両陣営による冷戦の展開や、戦後復興と経済発展を理解する。 ○アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題について理解する。 ○平和共存の模索などを理解し、戦後から1960年代までの世界の動向について考察する。	2 2 2 2 1	小テスト 授業の取組 レポート 定期テスト 授業ノート提出
3	第16章 現代の世界	1. 社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 2. 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3. 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4. 現代文明の諸特徴	○市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結とソ連の解体、地域統合の進展、地域紛争の頻発、知識基盤社会への移行、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解し、1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質について考察する。	2 2 1 1	小テスト 授業の取組 レポート

計128時間（55分授業）

4 課題・提出物等

- ・授業を受けたその日のうちに授業内容をまとめて、独自の「授業ノート」をつくってください（定期考査後に「授業ノート」の提出を求めます）。提出する「授業ノート」に学習して感じたことをまとめましょう。なお、資料の整理する力をつけるためにルーズリーフは禁止します。綴じてあるノート（キャンパスノート等）を用意してください。
- ・必要に応じて、課題プリントや世界史のレポートの提出を求めます。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断する力を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って統合的に理解し、その知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ① 授業への取り組み（授業態度、授業中の発言、学習活動への参加状況など） ② 課題やレポート等の提出物 ③ 定期テスト			などから、総合的に評価します。

6 担当者からの一言

高校に入学して皆さんが学ぶ社会科（高校では地歴・公民科と呼んでいます）の最初の科目として、『世界史B』を行います。文字どおり“世界の歴史”です。中学校の歴史分野は主に日本の歴史を中心に学んできたと思います。『世界史B』という科目は、世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づいて地理的な感覚や日本の歴史と関連づけながら学習していきます。主に原始・古代の時代から17～18世紀のヨーロッパまでをおおまかに学習したいと思います。歴史を暗記科目だと思っている人はいませんか？“歴史は川のように流れている。”歴史のさまざまな事象（事件）には、原因・経過・結果があります。5W1H（いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのようにして）が理解できれば、歴史の流れをつかむことができ、歴史をより積極的に学習できるのではないかと思います。卒業後の進学を意識しつつ社会人になるための素養の一つとして世界史を前向きに学習しましょう。（担当：山崎 剛志）